

平成23年第1回定例会一般質問通告一覧表

質問順	受付月日	2.15	通告者	14番	相澤耀司
1番	答弁者	市長	発言時間	30分	
<p style="margin: 0;">中心市街地構想について</p> <p style="margin: 0;">JR仙石線多賀城駅を中心とする活性化事業について、市長の考えを確認する。</p> <p style="margin: 0;">(1) 長崎屋跡地利活用に関する進捗状況は。</p> <p style="margin: 0;">(2) 昨今の環境変化に対応した、中心市街地活性化事業のコンセプトをどう捉えているか。</p>					

質問順	受付月日	2.18	通告者	10番	藤原益栄
2番	答弁者	市長・教育長	発言時間	30分	
1	<p style="margin: 0;">昨年末の「指定管理者制度の運用…」に関する総務省自治行政局長通知について</p> <p style="margin: 0;">昨年末の12月28日、総務省自治行政局長名で「指定管理者制度の運用について」という通知が出され、また本年1月5日にはその趣旨について片山総務大臣が記者会見を行った。</p> <p style="margin: 0;">(1) 片山総務大臣は、指定管理者制度を「コストカットのツールとして使ってきた嫌いがある」こと、「結果として官製ワーキングプアというものを随分生んでしまっている」こと、「集中改革プラン…はもともと法的に有効な通知ではありません」等をあげ、指定管理者制度の誤解を解くために出したと述べた。この助言を市長はどう受け止めたか。</p> <p style="margin: 0;">(2) 片山総務大臣は同会見で「例えば、公立図書館とか、まして学校図書館なんかは、指定管理になじまない…。やはり、きちっと行政がちゃんと直営で、スタッフを配置して運営すべきだ…」とも述べた。教育長はこの発言をどう受け止めたか。</p>				
2	<p style="margin: 0;">水道事業について</p> <p style="margin: 0;">(1) 水道事業資本費平準化債の制度に関する市当局の従来の説明は、総務省への照会によりことごとく否定された。議会に不正確な説明をしてきたことについて、市長はどのような見解をお持ちか。</p> <p style="margin: 0;">(2) 料金はもっと下げられたし、下げるべきだと考えるがいかがか。</p>				

	(3) この際、管理者は廃止すべきだと考えるが市長の認識を問う。
3	<p>本市の経常収支比率について</p> <p>(1) 本市の経常収支比率の高さの原因をどのように見ているか。</p> <p>(2) 補助金の一般財源化は、財政力の高い自治体ほど苦しむシステムであり、反対の声を上げるべきではないか。</p> <p>(3) 現制度化では、たとえ企業誘致に成功しても財政的には好転しない。一般財源を投入してまで推進する価値はないと考えるが、市長の認識を問う。</p>
4	<p>太陽の家の運営形態について</p> <p>混合保育が本当に障害児の発達に有効であるのか、検証されないまま今日に至っている。こうしたもとで、約1億円の費用をすべて自主財源でまかなっているが、それが望ましい運営形態か疑問である。同僚市議からも運営形態の検討を求める意見が提出されているが、運営についてどのような検討をされているか、説明されたい。</p>

質問順	受付月日	2.18	通告者	20番	小嶋廣司
3番	答弁者	市長	発言時間	30分	
	TPPについて				
	<p>(1) 農業とTPPとの関係について</p> <p>TPPは、菅首相が昨年10月の所信表明演説で突然打ち出したもので、十分な議論がなされぬまま、今年の6月をめどに交渉参加の結論を出すというものである。本市でも昨年第4回定例会で取り上げられ、市長が見解を求められた。特に第一次産業においては、壊滅的な打撃を与えると思うが、昨年第4回定例会での答弁に変わりはないか伺います。</p> <p>(2) 医療や郵政、金融、労働などの分野への影響については、どう捉えているか。</p>				

質問順	受付月日	2.17	通告者	4番	伏谷修一
4番	答弁者	市長	発言時間	30分	
	持続可能な自治体経営の新たな指針とプランニングについて				
	<p>本市における地方財政健全化の方策の一つには、自治体のポテンシャルを最大限活用することが重要であるという観点から、農地の利活用を図り、自主財源の確保に着手したと認識しているが、次の視点から伺う。</p>				

- (1) 平成23年度の施政方針並びに予算案説明要旨からは、工業団地化構想の意気込みが全く感じられないが、余計な心配なのか。
- (2) 10年後の後継者問題などから考慮した農地政策であれば、新たな指針（オーダーメイド方式）を、受け身ではなく新たな手法として、二段三段構えで地権者へ示すべきではないか。
- (3) 昨今の経済状況を鑑み、持続可能な自治体経営を目指すのであれば、工業団地化以外の活用方法をプランニングするべきと考えるがいかがか。

質問順	受付月日	2.17	通告者	12番	中村善吉
5番	答弁者	市長	発言時間	30分	
<p>男女共同参画推進計画と家族制度について</p> <p>昨年12月に「多賀城市男女共同参画推進計画（案）」の説明会があったが、当該計画の目指す3つの方向のうち、次の点を伺う。</p> <p>(1) 「基本目標Ⅰ 人づくり (1) みんなで気づこう」について</p> <p>ア 「① 性別による偏見や固定的な考え方の存在に気づく」とは、 どのようなことか。</p> <p>イ 性別による差別ではなく、区別ではないのか。</p> <p>ウ ジェンダー形成の功罪をどう評価するか。</p> <p>(2) 「基本目標Ⅲ 環境づくり (3) 暴力のない環境をつくろう」について</p> <p>ア 種々の暴力を起こさせる要因は何か。</p> <p>イ 暴力の根絶はどのように行われるか。</p> <p>ウ 計画の中で、子どもたちのしつけなどはどのように行われるか。</p> <p>(3) 我が国の家族制度との関わりについて</p> <p>ア 計画と家族制度との関連性はあるか。</p> <p>イ 計画の中に、先進地の家族尊重の理念はどのように活かされているか。</p>					

質問順	受付月日	2.17	通告者	18番	昌浦泰巳
6番	答弁者	市長・教育長	発言時間	30分	
1	一時預かり保育と病後児保育について				
	市長は施政方針で、一時預かり保育の拡充と病後児保育を実施する私立保育所への助成を行う旨を示したが、具体策を伺う。				
2	学力向上策について				
	(1) 新年度から、学習環境支援員を小学校3・4年生を対象として配置する多賀城個別支援事業を実施するが、具体的にはどのようなものか。				
	(2) 本市の児童・生徒は、義務教育の内容を全て理解して中学校を卒業すべきと思う。完全履修は可能か。				
3	教育環境の充実について				
	(1) 市長は施政方針で、勉学とスポーツをともに頑張る元気な子ども、歴史と音楽に親しむ豊かな心を持った子ども、そのような子どもたちを育てる教育環境づくりを進めると明言したが、具体策を伺う。				
	(2) スポーツに関して、多賀城中学校の駅伝に対する取り組みに、何らかの助成策を講じるお考えはありますか。				

質問順	受付月日	2.18	通告者	19番	阿部五一
7番	答弁者	市長・教育長	発言時間	30分	
1	「まちの駅」の設置について				
	設置目的、条件などから、多賀城には「道の駅」でなしに、「まちの駅」を中央公園地域に設置するのが望ましいと思うがいかがか。				
2	歴史の重みと詩都のイメージを高く持ったまちづくりについて				
	(1) 史跡を史（詩）跡公園として整備することについて、特に、標柱のみを立てている箇所を小公園化してはどうか。				
	(2) 歌枕の整備と歌碑の建立を促進すべきものとするがいかがか。				
3	人材の育成について				
	(1) 初めて市長に就任した時点と比較して、人材としての職員についての現状認識を問う。				
	(2) 幹部職員の能力向上策について、具体的な計画を問う。				
	ア 職場外研修（庁内、外部への派遣研修等）について				
	イ 職場における部課長の統率力の向上策について				

質問順	受付月日	2.17	通告者	8番	雨森修一
8番	答弁者	市長・教育長	発言時間	30分	
1	多賀城駅前幹部交番誘致について				
	JR仙石線多賀城駅は、年間乗降客が約290万人と、県内では仙台駅、あおば通駅に次いで乗降客が多い駅であり、本市のみならず、七ヶ浜町住民の通勤・通学に、さらには仙台港背後地の工場地帯関係者など多くの利用者にとって、主要な交通拠点駅となっています。駅前への幹部交番設置の実現化に向けての進捗状況を伺います。				
2	多賀城市シルバーヘルスプラザの施設について				
	当該施設は、昭和50年1月31日、多賀城市老人福祉センターとして竣工され、今年で36年経過している。当該施設は、高齢者にとって楽園であり、その中でも、風呂は年間約18,000人の利用者がある。風呂の建て替えを考えてはどうか、伺います。				
3	歴史シンポジウムの構想について				
	本年6月に予定されている、友好都市太宰府及び奈良との歴史シンポジウムの内容、構想について伺います。				

質問順	受付月日	2.17	通告者	11番	戸津川晴美
9番	答弁者	市長・教育長	発言時間	30分	
1	交通安全対策について				
	多賀城小学校児童の通学路となっている仙塩診療所前の横断歩道は、見通しも悪く大変危険である。何らかの安全対策が必要ではないか。				
2	水路整備について				
	八幡二丁目の全長730mに及ぶふたのない水路は、安全面・衛生面共に大きな問題を抱えている。早急な整備が必要であると思うがいかがか。				
3	教育扶助について				
	国は、PTA会費、児童・生徒会費、クラブ・部活動費も扶助項目とすることを奨励しているが、本市としての対応を問う。				
4	学校施設について				
	市内小・中学校の洋式トイレ整備計画について問う。特に多賀城中学校の現状は、早急な改善が必要であると思うがいかがか。				

質問順	受付月日	2.17	通告者	1番	柳原清
10番	答弁者	市長	発言時間	30分	
1	地域循環バスについて				
	<p>昨年第3回定例会でも地域循環バスの実現を質したが、「多賀城駅の完成を待って検討する」という回答であった。しかし、特に困っている西部地区のお年寄りにとって、地域循環バスは命綱である。駅の完成を待つことなく、一日も早い地域循環バスの実現を望む。</p>				
2	TPP問題について				
	<p>昨年第4回定例会で「TPP参加に慎重な対応を求める意見書」が全会一致で可決された。宮城県議会と、県内35自治体のうち34の自治体で同様の意見書が可決されている。TPP参加は、農業・食料のみならず、地域経済、雇用などにも大きな影響を及ぼす。TPP反対の意思を明確に示すべきではないか。</p>				
3	市道整備について				
	<p>山王、新田、高橋地区には、市道側溝にふたのない区間があり、危険である。計画的に側溝整備を進められたい。</p>				

質問順	受付月日	2.18	通告者	2番	佐藤恵子
11番	答弁者	市長	発言時間	30分	
1	保育行政について				
	<p>政府が検討している「子ども・子育て新システム」は、利用者と保育所の直接契約など保育の公的責任を放棄し、市町村が負っている保育実施の義務を後退させるものとして、親や保育団体から強い反対の声が上がっている。市は、現行の保育制度を解体する「新システム」に反対の立場を明確にし、政府に必要な意見を上げていくべきと思うがいかがか。</p>				
2	乳幼児医療費無料化促進について				
	<p>小学校入学前まで実施している本制度を段階的に引き上げられたい。</p>				
3	平和都市宣言にふさわしい記念事業について				
	<p>昨年末、念願の平和都市宣言がなされ、多くの市民から歓迎の声が寄せられている。この宣言にふさわしい平和教育の一環として、市内中学生を対象に、沖縄や長崎、広島へ派遣する事業を立ち上げてはいかがか。</p>				